

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	農業総務事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費
	細目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
農業改良普及協議会：山陽小野田市・宇部市・JA山口宇部で構成された協議会。改良普及事業を行うほか各種農業グループの育成を行う。 農林振興公社：県内の全市町が参加。農山漁村の振興事業を展開。		協議会や公社が各種事業を実施。農業経営の近代化を促進し、農家の社会的経済的地位の向上を図る。		負担金を交付し、各団体が行う事業を支援。活性化研究会事業ほか8事業を展開。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
団体加入			担い手育成事業数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2団体		2団体		22		22	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	389,000	389,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		389,000	389,000	
合計		389,000	389,000	合計		389,000	389,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
なし		なし	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート		課名	農林水産課	農林係	No	2
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	戸別所得補償推進事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	戸別所得補償制度推進事業費	細々目	1	戸別所得補償制度推進事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()				予算種別	新規 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成22年度から始まった戸別所得補償制度における推進事務費。(国事業名:戸別所得補償制度導入推進事業補助金)	戸別所得補償制度の推進にかかる、生産調整の事務等に係る経費についての補助金。国事業で10/10の補助率で行われている。 事業の主な内容としては、水稻生産実施計画書(細目書)の作成及び生産調整実施者の確認、申請手続き等を行う。	生産調整事務の円滑な実施。	
活動指標		成果指標	
会議開催回数		戸別所得補償加入者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
10	10	885	855
			成果指標の到達度(B/A)
			96.6%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	需用費	456,280	456,280	財(源割内訳)	国庫支出金	()		
	賃金	1,243,720	1,243,720		県支出金	()		
					地方債	()		
					その他	()	1,700,000	1,700,000
					一般財源	()		
合計	1,700,000	1,700,000	合計	1,700,000	1,700,000			
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		1.35	3,525,550					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
水稻生産数量目標の調整	関係機関等と連携し、啓発。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	野菜安定価格事業負担金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費
	細目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
特定野菜の価格が著しく低下した場合に、経営に及ぼす影響を緩和する。		特定野菜生産農家の経営安定及び産地づくりの促進。 対象野菜:玉葱、ブロッコリー 価格の変動に左右されることのない安心感により野菜生産者の増加に繋がる。 H25から対象品目に南瓜が追加予定		価格低迷時に生産者への損失補填のための負担金を納付。 要件に達した場合に発動。	
活動指標			成果指標		
事業に加入			対象野菜作付面積		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
1件		1件		111.7%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
9.4ha		10.5ha			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	50,000	0	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	50,000	0
合計		50,000	0	合計		50,000	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.05	302,050

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
対象野菜の種類拡大と野菜のブランド・産地化を図る。	関係機関との連携強化。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	4		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	農業施設整備事業補助金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費
	細目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成9年～15年にかけて山陽地区においてJAが整備したライスセンター等の事業資金に対する元金・利子を補助	整備された農業用施設により地域の農業振興や地場産農産物を利用した特産品開発に寄与。 対象施設：北部ライスセンター、育苗センター、小正寺ライスセンター、農産物加工所	平成9年～15年にかけて山陽地区においてJAが整備したライスセンター等の事業資金に対する元金・利子を補助		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
補助金額		事業償還金累計額		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	79.4 %
9,896千円	9,896千円	148,448千円	117,845千円	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	9,896,000	9,895,378	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		9,896,000	9,895,378	
合計		9,896,000	9,895,378	合計		9,896,000	9,895,378
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策		
なし。	なし。		
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	5		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	農業管理センター運営補助								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農業管理センターは、直接農業者の窓口となるだけでなく、市・農業委員会・県・国・JA等の関係機関が定期的に担い手育成等についても協議している		関係機関・団体が定期的に協議をおこなう場(農業管理センター)があることで、本市の農業の現状や今後の方向性について情報共有できる		JA小野田地区と山陽地区の2箇所に設置された農業管理センターの運営費の一部(人件費)を助成	
活動指標			成果指標		
会議開催回数			情報共有回数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
24回		24回		100%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	992,000	992,000	財源(割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		992,000	992,000	
合計		992,000	992,000	合計		992,000	992,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,510,250				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
なし。		なし。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート		課名	農林水産課	農林係	No	6
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	経営基盤強化資金利子補給事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業総務費	細々目	4	経営基盤強化資金利子補給事業
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
経営拡大その他経営発展を図るのに必要な農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対し利子助成をおこなう。(スーパーL資金)	事業対象者：花の海、グリーンハウス	経営拡大その他経営発展を図るのに必要な農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対し利子助成をおこなう	
活動指標		成果指標	
関係団体との情報確認回数		制度利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
12回	12回	2法人	2法人
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	2,235,000	2,234,336	財源(割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		2,235,000	2,234,336	
合計	2,235,000	2,234,336	合計	2,235,000	2,234,336		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
新規制度利用希望者への利用拡大	予算措置
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	県とともに実施している事業。

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	7		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	農業近代化資金利子補給金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農林業者に対する農業近代化資金の融通を円滑にする措置。		農業者に対し農業協同組合等の融資機関が行う農業施設資金等の融資を円滑に行うため、県と市が当該融資機関に対して利子補給措置を講じ、農業経営の近代化を図る。		融資機関に利子補給を行う。	
活動指標			成果指標		
関係団体との情報確認回数			制度利用者数		
目標値(単位)		実績値(単位)	目標値A(単位)		実績値B(単位)
12回		12回	2人		2人
					成果指標の到達度(B/A)
					100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	24,000	23,805	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()	11,000	11,902
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		24,000	23,805	一般財源 ()		13,000	11,903
				合計		24,000	23,805
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
新規制度利用希望者への利用拡大		予算措置	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	県とともに実施している事業。		

平成23年度 事務事業評価シート		課名	農林水産課	農林係	No	8
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	地域担い手育成総合支援協議会運営事業					
予算費目	款		項		目	
	細目		細々目		会計種別	
事務区分(根拠法令)		()			予算種別	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市、県、関係機関等が協議会を組織し、担い手の経営基盤の確立・強化、耕作放棄地の解消等に向けた支援を行う。	①農地利用集積円滑化事業 ②耕作放棄地再生事業 ③担い手育成支援事業 ④新規就農定着交付金事業 等	①農地の面的集積・連坦化により経営規模を拡大する農業者に対する補助 ②耕作放棄地の再生に対する補助		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
事業実施回数		認定農業者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	85.1 %
2回	2回	47人	40人	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
				一般財源	()		
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.4	2,416,400				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
・新規就農の推進等を図るための独自の活動費がない。		市からの補助金交付。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	本事業は国の施策として農政事務所、県、市が協力して実施するものである。予算計上なし。		

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	9
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成	
事業名	農業振興地域整備計画事業						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
農林水産大臣が定める「農用地等の確保等に関する基本方針」を基に県は「農業振興地域整備基本方針」を策定、市は「農業振興地域整備計画」を策定する。計画策定年度：平成22年度		対象：①農業振興地域内農用地区域 ②土地所有者や土地開発等業者 農業振興を図っていく地域を農用地区域として設定し、優良農地の確保・保全に努める。社会情勢の変化による農地の開発需要に対し、営農環境の保全に留意した適正な土地利用へ誘導する。		農業振興地域整備計画における農用地利用計画の農用地区域から農用地等以外の用途に供することを目的として提出された除外申し出等により、農用地区域の計画的利用のため農業振興地域整備計画の変更を行う。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
経済事情の変動その他情勢の推移を勘案しながら、農業振興地域整備計画を随時見直ししていく。			農業振興地域及び農用地区域の設定を行いながら、農業における効率的な土地利用と農業振興に寄与する。				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
変更回数 2回		変更回数 2回		農用地区域 1,085ha		農用地区域 1,085ha	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳				財(源内合訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
				一般財源	()		
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,510,250				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
除外要件や農業委員会等の意見、都市計画法その他の定められた要件を満たす必要性があり、的確な適否判断を要する。	除外申出前の相談に伴う現地確認や県との連絡調整を密にする。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	予算計上なし。
-----	---------

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	10		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	利用権設定等促進事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費
	細目	1	農業総務費	細々目	1	農業総務一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農業者の高齢化や兼業化、また後継者がいないなどの理由により、農作業や農地の管理を任せたいという農地所有者と、農地を借りて経営規模を拡大したいという希望を持つ農業者との間に市が入り、農業経営基盤強化促進法に基づき農地の貸し借り等を農地法によらずに行う。		農地の貸し借り等について農用地利用集積計画を定め、農地の流動化を図る。		農用地利用集積計画の策定、公告を行う。	
活動指標			成果指標		
農用地利用集積計画数(筆数)			利用権設定面積		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
-		658筆		%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
-		123.6ha			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	84,784	70,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		84,784	70,000	
合計		84,784	70,000	合計		84,784	70,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,208,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである又は実績値を把握していない

4 ACTION

課題		改善策	
なし。		なし。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農業委員会事務局		No	1
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1 農業の担い手の育成
事業名	農業委員会運営				
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1
	細目	1	農業委員会事務局費	細々目	
事務区分(根拠法令)		法定受託事務 (農業委員会等に関する法律)		予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
農業委員会は、優良農地の確保及びその有効利用、担い手の育成などが期待され、農地と担い手を守り、力強い農業を推進することが必要である。平成21年農地法の改正により、農業委員会の適正な事務の執行、優良農地の確保などの内容が強化された。	農業委員を対象に、総会など、法令業務を行う。また、協議会等において、農地や担い手の確保について対策を協議する。	月一度の現地調査と総会の開催を行う。委員は農地の移動状況や転用の状況を調査し、適正許可に努める。また、農地相談を行い、担い手及び優良農地の確保に努める。農業者年金の加入促進事業なども積極的に取り組む。
活動指標		成果指標
総会開催回数		農地法3, 4, 5条の規定による許可件数
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)
12回	12回	78件
		成果指標の到達度(B/A)
		%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委員報酬	8,217,000	8,145,357	財(源割内訳)	国庫支出金()	2,424,000	2,424,000
	旅費(費用弁償)	54,000	48,000		県支出金()		
	需用費	172,000	165,720		地方債()		
	委託料	356,000	355,404		その他()		
	その他	584,000	513,240		一般財源()	6,959,000	6,803,721
合計	9,383,000	9,227,721	合計	9,383,000	9,227,721		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.35	10,724,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	D 数値設定があいまいである又は実績値を把握していない

4 ACTION

課題	改善策
農業者年金の普及促進や農業委員会系統組織の広報誌「全国農業新聞」の普及は思うように進まない。	農業委員の戸別訪問等
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	成果指標は申請、許可数であることから目標値は定めるべきでない。

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農業委員会事務局		No		2			
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成			
事業名	農業委員会だより発行事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費
	細目	1	農業委員会事務局費	細々目			会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
農産物の価格低迷や、後継者不足など農業経営は大変厳しいものになっている。こうした中、農家からの情報提供が強く求められており、年1回ではあるが農業委員会だよりで情報の提供を行っている。	農家および農業関係者を対象に農業委員会の事業内容を把握してもらうため周知を行う。	農政部会を開催し作成。市内篤農家の紹介も行き、農家全戸に配布する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
発行部数2,000部		地域に密着した取材、農家取材等		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	67 %
2,000部	2,000部	3件	2件	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	147,000	147,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	147,000	147,000
合計		147,000	147,000	合計		147,000	147,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	674,660				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課	題	改善策	
	委員の紹介記事が多い。	農家の紹介や、農家の直接の声を掲載できるよう検討する。農業者年金の加入促進などの記事も多く取り入れる。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名	農業委員会事務局	No	3
----	----------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	1	農業の担い手の育成
事業名	農地に関する調査事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業委員会事務費	細々目		農業委員会費
事務区分(根拠法令)	法定受託事務 (農地法)				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
国内の食糧自給率の向上や、食料の安定供給を図るため、生産基盤である農地について、その確保と有効利用が必要とされている。平成21年農地法の改正により、新たに農地に関する利用調査を行うこととなった。	市内全農地の利用状況調査を行い、遊休農地の把握、有効利用に向けての計画等の基礎資料とする。	現地調査員において、利用状況の調査を実施し、農家基本台帳システムに登録する。また図面化し、荒廃した農地の再生可能等を区分化する。	
活動指標		成果指標	
調査筆数		基本台帳登録筆数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
21,000筆	19,632筆	21,000筆	20,355筆
			成果指標の到達度(B/A)
			97%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	賃金	2,350,000	2,310,355	財(源割内訳)	国庫支出金()	3,373,000	3,373,000
	共済費	347,000	333,603		県支出金()		
	需用費	115,000	113,706		地方債()		
	借上料	693,000	693,000		その他()		
	その他	53,000	52,800		一般財源()	185,000	130,464
合計	3,558,000	3,503,464	合計	3,558,000	3,503,464		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.45	4,846,380				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
現地調査は天候に左右されやすく、計画どおり実施できない。	早めの計画設定または臨時職員の早期雇用。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		耕地係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	土地改良区等事業推進費補助								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地総務費
	細目	1	農地総務費	細々目	1	農地総務費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
土地改良区が維持管理している排水機場等土地改良施設の適正な運転のための維持管理費の助成、事業償還金の補助を行う。		土地改良施設(排水機場等)の維持管理について、地元で行ってもらうことで効率化を図る。		土地改良施設(排水機場等)の維持管理に係る経費について、土地改良区等からの申請により補助金を交付する。	
活動指標			成果指標		
基幹水利施設数			排水流域面積		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
6(施設)		6(施設)		100	
				%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
5,036(ha)		5,036(ha)			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	81,089,620	80,760,480	財源(割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		81,089,620	80,760,480	一般財源	100	81,089,620	80,760,480
				合計		81,089,620	80,760,480
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,208,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
市内の主要な排水手段である排水機場ポンプの老朽化が進み、管理者の負担が大きくなっている。		市にとって欠かせない重要な施設なので、国・県の事業を活用し、大規模な改修・更新を計画的に行う。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		耕地係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業 負担金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地総務費
	細目	1	農地総務費	細々目	1	農地総務費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
土地改良事業等で整備した農業用施設が耐用年数を経過するなど老朽化が進み、維持管理労力が大きい施設について計画的に改修整備を行う。		維持管理の省力化、老朽化施設の計画的な改修により営農の効率化を図る		事業費を国30%、県30%、地元40%の負担割合とし、市の負担分について5年に分けて積立を行う。工事実施年度において積み立てた事業費が交付される。	
活動指標			成果指標		
対象施設数			積立額		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100 %
1(箇所)	1(箇所)	330(千円)	330(千円)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	347,000	343,500	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 100	347,000	343,500
合計		347,000	343,500	合計		347,000	343,500

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.15	906,150

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
特になし。	

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		耕地係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	小規模土地改良事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地総務費
	細目	1	農地総務費	細々目	1	農地総務費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
地元管理の土地改良施設で国や県の補助事業の要件に合わない事業について、市の単独事業として、地元からの要望により事業を行う。毎年要望が上がり、緊急性等を考慮し、事業を実施する。		土地改良施設の簡易な補修整備等、国や県の補助事業の要件を満たさない事業を実施することで、農業施設等の整備を行う。		地元からの事業要望により事業を実施する。毎年予算の範囲内で優先順位を決めて事業を行う。 事業については地元で実施し、市は施設ごとに定められた補助率で補助金を交付する。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
年間整備件数			年間整備件数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	86.6	
15(件)	13(件)	15(件)	13(件)	%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	8,017,380	7,830,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 100	8,017,380	7,830,000
合計		8,017,380	7,830,000	合計		8,017,380	7,830,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,114,350				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
毎年新規の申請が15件程度あり、次年度に繰り越さないためにも15件程度の補助を実施したいが、予算の制約もあり、実施できない状態が続いている。	事業実施まで3年待ちの状態であるが、事情を説明し、理解をいただいている。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	待機件数29件
-----	---------

平成23年度 事務事業評価シート				課名	農林水産課	耕地係	No	4	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興		3	農業の振興		2	農業の基盤の整備	
事業名	単市土地改良事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	6	土地改良事業費
	細目	1	土地改良事業費	細々目	1	土地改良事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市管理土地改良施設(排水機場等)で、国や県の補助事業の要件に合わない事業について、市の単独事業として地元からの要請により事業を行う。毎年要望が上がり、緊急性等を考慮し、事業を実施する。		市管理土地改良施設で簡易な補修整備等、国や県の補助事業の要件を満たさない事業を実施することで、農業用施設等の整備を行う。		市管理土地改良施設で、地元からの要請により事業を実施する。毎年予算の範囲内で優先順位を決めて事業を行う。	
活動指標			成果指標		
工事請負金額			整備件数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
7,368(千円)		6,838(千円)		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
20(件)		20(件)		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	61,150	16,800	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	工事請負費	7,367,050	6,837,715		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 100		7,428,200	6,854,515	
合計		7,428,200	6,854,515	合計		7,428,200	6,854,515
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,812,300				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
排水機場等の施設の老朽化が進んでおり、補修・整備を要する箇所が多く、単市土地改良事業では対応できない状況である。		国や県の補助事業を活用し、排水機場等の施設の整備・更新を計画的に実施していく。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		耕地係		No	5		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	県営土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	6	土地改良事業費
	細目	1	土地改良事業費	細々目	10	県営経営体育成基盤整備事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
後潟地区では、平成3~10年度で南側37haの区画整理を実施、残りの27haが未整備となっている。地元からの要望が強く、合意形成も整うことから、残りの区画整理を実施する。		農作業の効率化、農地の集団化による経営体の育成。		県営事業によりほ場整備を行う。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
対象農地			進捗率(平成23年度分/金額ベース)				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
27(ha)		27(ha)		2,722(千円)		2,722(千円)	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	1,500,000	997,500	財源(割内合訳)	国庫支出金 ()	750,000	498,000
	負担金、補助及び交付金	2,225,000	1,723,750		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()	400,000	199,500
			一般財源 ()		2,575,000	2,023,750	
合計		3,725,000	2,721,250	合計		3,725,000	2,721,250
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成24年度の法手続きをスムーズに実施する。	地元農業者とのコンサセンセを深め、実態を把握する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		耕地係		No	6		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業(小城川第2堰)								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	6	土地改良事業費
	細目	1	土地改良事業費	細々目	3	土地改良施設維持管理適正化事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			()	予算種別	新規	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
施設の老朽化(S50設置)により、洪水時の自動転倒が困難となっている。また、腐食により鉄製堰板に穴が開いている。日常の管理だけでなく、洪水時の操作が非常に困難で災害が起こりやすい状況となっている。早急な施設改善が求められている。		災害防止、維持管理労力の低減。		自動転倒堰の改修を実施する。市の負担金については、5か年(H20~24に分けて支出する。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
適正化事業採択箇所数			適正化事業施工箇所数		
目標値(単位)		実績値(単位)		100	
1(箇所)		1(箇所)		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	550,000	525,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	工事請負費	5,500,000	5,493,600		県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	92	5,500,000
			一般財源		8	550,000	466,740
合計		6,050,000	6,018,600	合計		6,050,000	6,018,600
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	906,150				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
次回更新時期を少しでも遅らせ、長寿命化を図る。		ステンレス製ゲートを設置。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要 事業完了
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		耕地係		No	7		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	6	土地改良事業費
	細目	1	土地改良事業費	細々目	1	土地改良事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
排水機場の施設全体の老朽化が進み、防災上の観点からも早急に改修する必要がある。		機能診断、機能保全計画により、排水機場の計画的な改修を実施し、大雨時の安全を確保する。		基幹水利施設ストックマネジメント事業により、排水機場の施設全体の改修をするための機能診断・機能保全計画の作成を行う。	
活動指標			成果指標		
機能診断・保全計画の作成施設数			機能診断・保全計画の作成施設数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
3(施設)		3(施設)		100	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	1,500,000	1,500,000	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 100		1,500,000	1,500,000	
合計		1,500,000	1,500,000	合計		1,500,000	1,500,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	604,100				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
保全計画に基づき平成25年度以降のハード事業を実施する。		保全施設の年次計画を精査する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	15		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	やまぐち集落営農生産拡大事業(七日町地区)								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	新規	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
食料自給率向上と持続可能な農業構造への転換を確実に進めるため、集落営農法人等が取り組む生産拡大を支援するとともに、これら法人等を核とした米麦大豆・野菜等の産地づくりを推進する。		米の生産調整の達成 麦作の振興 担い手の経営安定、意欲向上 学校給食への供給を含む地産地消の推進		○生産条件整備支援対策 ・実施主体 七日町営農組合 ・麦作用乗用管理機 5,031千円 ・主穀用共同利用機械 県補助率1/2	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
共同機械(乗用管理機ほか)の導入			麦作面積の拡大		
目標値(単位)		実績値(単位)		100	
1台		1台		2.2ha	
				2.2ha	
%					

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	2,676,000	2,395,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()	2,676,000	2,395,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()				
合計		2,676,000	2,395,000	合計		2,676,000	2,395,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
農業者から、生産調整、農業振興、経営安定施策に係る市独自支援に対する要望が強いが、実施されていない。		単市支援策について検討	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	2	農業の基盤の整備			
事業名	やまぐち集落営農生産拡大事業(南高泊地区)								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	新規	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
食料自給率向上と持続可能な農業構造への転換を確実に進めるため、集落営農法人等が取り組む生産拡大を支援するとともに、これら法人等を核とした米麦大豆・野菜等の産地づくりを推進する。		米の生産調整の達成 麦作の振興 担い手の経営安定、意欲向上。 学校給食への供給を含む地産地消の推進		○生産条件整備支援対策 ・実施主体 小野田ブロックリ生産組合 ・野菜移植機 1850千円 ・園芸用共同利用機械 県補助率1/3 ・実施主体 南高泊干拓農協 ・トラクターほか 7200千円 ・主穀用共同利用機械 県補助率1/2			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
共同利用機械			ブロックリー面積の拡大 大豆面積の拡大				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
2台		2台		5ha 34ha		5ha 34ha	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	4,572,000	4,044,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()	4,572,000	4,044,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()		
合計		4,572,000	4,044,000	合計		4,572,000	4,044,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
農業者から、生産調整、農業振興、経営安定施策に係る市独自支援に対する要望が強いが、実施されていない。	財政措置

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	3	地産地消の推進			
事業名	農林水産まつり補助金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
農業・林業・水産業の第1次産業が参加するイベントである。安全安心な農作物が求められる中、地元農水産物を知ってもらい、地産地消を推進するための絶好の機会である		市民に対し、地場産農水産物や加工品のPRに効果があるとともに、農作物の品評会の開催により農業者の生産意欲の向上や技術の向上を図る		農林水産まつり実行委員会への補助金			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
まつりの開催			来場者数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
1回		1回		5000人		4500人	
90 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	150,000	150,000	財源(割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		150,000	150,000	
合計		150,000	150,000	合計		150,000	150,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,208,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
平成17年度から補助金が減額になり、イベントの規模を維持することが困難。		テナント料の徴収を行う等、補助金以外の収入を検討	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	3	地産地消の推進			
事業名	地産地消推進補助金								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
旬菜惑星推進協議会は、生産者、流通、加工関係者、消費者等が連携した地産地消の推進や、流通販売の活性化を通じた地域農産物の生産・需要拡大を図るために設置された組織。JA、県、市場、企業がこれを推進している。		生産者、流通、加工業者、消費者が連携した「地産地消」の推進や、流通販売の活性化を通じた地域農産物の生産・需要拡大を図るため、地産地消関連イベント等を行う。 ・旬菜フェスタ(6月、11月) ・たまねぎイベント ・はなっこりー収穫体験 ・山陽小野田市農林水産まつり ・厚狭殖生農業まつり		旬菜惑星推進協議会への補助金交付。 JA山口宇部山陽宮農総合センターに事務局を置き、年一回の総会を開催し事業計画を立てる。 各種イベントの開催や予算執行についてはJA、市、県等の担当者で随時協議を行っている。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
自主イベントの開催や地域イベントへの参加			①共販野菜面積 ②イベント回数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	①153 ②100 %	
5回	6回	8.82ha 6回	13.52ha 6回		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	300,000	300,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	300,000
合計		300,000	300,000	合計		300,000	300,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
農業従事者の高齢化、農業経営環境の厳しさから農業者は減少しており、生産量の減少が続いている。 米の生産調整が進む中、水稻以外の生産にシフトしていく必要があり、逆にそれをチャンスと捉え、新たな特産品の生産に取り組むような支援が必要である。	寝太郎かぼちゃ等、地域特産品の取組を強化し、生産者のより活発な活動を支援。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	3	地産地消の推進			
事業名	食品加工指導推進費補助金事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	1	農業振興事業費	細々目	1	農業振興事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成18年に旧市町の生改連が合併し現在の団体となる。現在、会員は29名いるが、今後さらに活動を広めていくためには、若い世代の参加が必要である。	農業の担い手である若者との交流や地産地消の推進、地場産農産物を利用した特産品等の開発等により地域農業の活性化を図る。また、活動を通して農村の技術伝承、会員相互の資質の向上を図る。	市民まつりや農林水産まつり等のイベントへ積極的に参加し、市民との交流や地産地消のための活動を展開。	
活動指標		成果指標	
イベント参加回数		イベント参加人数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
5回	4回	70人	60人
			成果指標の到達度(B/A)
			86%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	18,000	18,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	18,000	18,000
合計		18,000	18,000	合計		18,000	18,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.2	1,208,200

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
活動状況は維持されているものの生改連会員数が減少・高齢化傾向。	積極的な勧誘を行い、農村の技術伝承等を推進。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	4	環境と調和した農業の推進			
事業名	市民農園管理運営事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	12	市民農園管理運営費	細々目	1	市民農園管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
旧小野田地域の烏帽子岩と高栄町の市民農園はほぼ全区域利用であるが、旧山陽地域の沓山田市民農園は空きがある状態		非農家の一般市民が農業体験を通じて収穫の喜びを味わうことができ、農業に関する理解を深めることができる。また遊休農地の活用の1つの方策でもある。		市内に3地区の市民農園がある。毎年、契約を締結し、利用料を納付してもらう。(計115区画) ○烏帽子岩地区44区画(1区画25㎡) ○高栄地区45区画(1区画30㎡) ○沓山田地区26区画(1区画26㎡) 使用料3,000円/区画・年			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
市民農園利用者数(人)			市民農園の利用率(%)				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
115		101		100		88	
%							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	85,480	85,480	財源(割内訳)	国庫支出金()		
	委託料	120,000	120,000		県支出金()		
	使用料及び賃借料	54,000	54,000		地方債()		
					その他()	315,000	315,000
			一般財源()				
合計		259,480	259,480	合計		315,000	315,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,510,250				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
<ul style="list-style-type: none"> 市民農園内の備品の盗難 ゴミの空き区画への投棄 隣接する利用者との境界をめぐるトラブル 		盗難については警察署への被害届を提出。定期的な見回りや啓発等を行う。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	5	畜産業の振興			
事業名	畜産振興事業(家畜保健衛生推進協議会補助金、家畜診療体制運営費負担金ほか)								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	6	畜産振興事業	細々目	1	畜産振興事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順				
家畜の伝染病予防や家畜診療業務、死亡牛の適正処理、受胎率の向上など専門的な知識が必要となる分野について、市独自で行うことが困難となる業務等を専門機関と協力することによって適切な畜産振興を図る。		家畜の防疫、衛生、治療業務の推進を図り、家畜の疫病による損消を防止し、畜産経営の安定と地域畜産振興を図る。 対象：市内畜産農家6軒		中部家畜保健衛生推進協議会への家畜保健衛生・防疫推進業務補助金及び中部家畜診療所運営協議会への運営負担金等を支払う。 構成員：中部家畜保健衛生推進協議会・・山口市、防府市、宇部市、美祢市、本市 中部家畜診療所運営協議会・・山口市、防府市、宇部市、本市、県、各農協関係機関				
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)			
中部家畜診療所運営協議会等へ参加			分娩頭数 予防接種数					
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)		
4件		4件		-		分娩24頭、予防177頭 予防550羽		
								%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	2,856	2,856	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	負担金、補助及び交付金	1,298,000	1,298,000		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()	131,470	131,470
			一般財源 ()		1,169,386	1,169,386	
合計		1,300,856	1,300,856	合計		1,300,856	1,300,856
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,510,250				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
家畜伝染病の発生時の対応		中部家畜保健衛生所等関係機関との密な情報交換、連携を図る。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		企画課		企画係		No	1
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)		
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	6	中山間地域の活性化	
事業名	中山間地域づくり推進事業						
予算費目	款		項		目		
	細目		細々目		会計種別		
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
中山間地域の過疎化、少子高齢化の進行などに伴い、耕作放棄地や荒廃森林の増加などが進んでいる。 中山間地域の活性化を図るため、地域資源を活かした、活力と魅力ある持続可能な地域づくりが必要とされている。	中山間地域で培われてきた地域資源を積極的に活用し、活力と魅力ある中山間地域づくりを進める。	<ul style="list-style-type: none"> 中山間直接支払制度を活用している6地域(奥ノ浴、平沼田、宗末、鑄物師屋、松岳畑、靱の木)の状況把握を行うとともに、中山間地域全体の活性化につながる事業を展開する。 県事業の活用、県との連携 		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
中山間地域(6地区)との連絡調整		中山間地域の活性化のため取り組んだ事業数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	0 %
6(地区)	0(地区)	1(事業)	0(事業)	

2 DO

歳出			予算現額(円)	決算額(円)	歳入			予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳					財源(割内訳)	国庫支出金	()		
						県支出金	()		
						地方債	()		
						その他	()		
					一般財源	()			
合計			0	0	合計			0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)						
		0.1	604,100						

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである又は実績値を把握していない

4 ACTION

課題	改善策
・中山間直接支払制度を活用している6地域(奥ノ浴、平沼田、宗末、鑄物師屋、松岳畑、靱の木)を対象に事業展開を考えているが、地域の課題の解消に有効な手立てが見い出せず苦慮している。	・組織の横断的な取り組みにより、課題解決に向けた研究に努める。 ・地域活性化室と連携を取り、事業展開を探索する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要 中山間地域の活性化をはかるため、事業展開について探求する。	B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要
その他	[中山間地域活性化への取り組み] ・中山間直接支払制度 ・民間事業者による高速通信ネットワーク(ADSL:厚陽地区、光通信:厚狭地区)の導入 ・携帯電話の不感地区解消への取組 ・地デジ移行による電波障害の解消相談

平成23年度 事務事業評価シート

課名		農林水産課		農林係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	3	農業の振興	6	中山間地域の活性化			
事業名	中山間地域等直接支払推進事業								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	細目	11	中山間地域等直接支払推進事業	細々目	1	中山間地域等直接支払推進事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
中山間地域は流域の上流部に位置し、農地を保持することにより洪水の防止や下流域の水源の確保等住民の生活基盤を守る重要な役割を担っている。しかし、条件が不利な故、耕作放棄地が増加しその役割が果たせなくなりつつある。 そのような中、これら中山間地域の有する機能を維持するため、H12年度から国・県・市が共同で支援を行っている。現在、第3期対策である。		条件不利地である中山間地域の農業生産活動を維持し、多面的機能を確保するため、国が定める要件を満たす地域に直接支払を実施している。 本市においては、現在5地区が山口県知事が定める特認地域に指定されており、本市と協定を結び事業に取り組んでいる。		各集落が取り組む事項について定めた協定書を作成し、市に申請する。 市が適当と判断した集落協定には国・県・市がそれぞれ決められた割合の交付金をその集落に交付する。			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
集落協定数			協定面積				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
5地区		5地区		18ha		18ha	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	交付金	3,887,844	3,887,844	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()	2,519,000	2,591,894
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		1,368,844	1,295,950	
合計		3,887,844	3,887,844	合計		3,887,844	3,887,844
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.25	1,510,250				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
協定農用地の適切な管理		定期的な見回り。協定集落に対する適時指導。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			